

## 1. 概要

- (1) 内政では、19日に大統領選挙及び上下両院議員選挙が実施され、大統領選についてはピニエラ候補が1位、ギジェル候補が2位となったが、どちらも過半数の得票率に達しなかったことから、12月17日に決選投票が実施されることが確定した。
- (2) 外交では、バチエレ大統領がベトナム・ダナンにおけるAPEC首脳会合への参加に併せて、国賓としてベトナムを訪問し、3つの関連文書に関する署名を行った。あわせ、ダナンにおいてチリ・中国FTA深化協定が署名された。

## 2. 内政

### (1) 大統領選挙（第一回目投票結果）

19日に実施された大統領選挙について、20日11時15分時点の選挙管理委員会（Servel）の開票速報（開票率99.94%、速報としては最終発表）によれば、以下のとおり結果となり、どの候補者も過半数の得票率に達しなかったことから、暫定1位のピニエラ候補及び暫定2位のギジェル候補の間での12月17日の決選投票の実施が確定した。なお、今次選挙の投票率（Servelは票、開票率99.94%時）は46.70%。

1. セバスティアン・ピニエラ（野党会派：Chile Vamos）	36.64%
2. アレハンドロ・ギジェル（与党会派：新多数派）	22.70%
3. ベアトリス・サンチェス（野党会派：拡大前線）	20.27%
4. ホセ・アントニオ・カスト（無所属）	7.93%
5. カロリーナ・ゴイック（キリスト教民主党）	5.88%
6. マルコ・エンリケス＝オミナミ（革新党（PRO））	5.71%
7. エドゥアルド・アルテス（愛国党（Union Patriótica））	0.51%
8. アレハンドロ・ナバロ（社会左派拡大党（PAIS））	0.36%

### (2) 上下両院議員選挙（結果）

19日、上下両議員選挙が実施されたところ、20日11時00分時点の選挙管理委員会（Servel）の開票速報（開票率：上院選挙99.95%、下院選挙は99.96%。）によれば、今次選挙では上下両院共に野党会派（Chile Vamos）が、過半数には至らなかったが多数を占め、与党会派・新多数派は票を落とす結果となった。また、拡大前線（Frente Amplio）は予想以上の善戦により、上院で議席1（+1議席）、下院で議席20（+18議席）を取る結果となった。

今次選挙を踏まえた新多数派（Nueva Mayoría）とキリスト教民主党（DC）の合計議席

数は20議席(+1議席)に対して野党会派は19議席(+4議席)である(なお、DCの議席を含めなければ新多数派は15議席(+2議席)。)

下院における新多数派とDCの合計議席数は56議席(-7議席)に対して野党会派は73議席(+26議席)となった(DCの議席を含めなければ新多数派は43議席(+1議席)。)  
注: DCが今後も新多数派の一員であり続けるかは現時点では確定的ではないため、DCを含めた与党会派の議席数とDCを除いた議席数の両方を記載。

なお、智日友好議員連盟関係では、フランシスコ・チャウアン上院智日友好議連会長(国民革新党(RN))、イッサ・コート下院智日友好議連会長(独立民主同盟党(UDI))等が再選した。

### **3. 外交**

#### **(1) チリ政府要人の外国訪問**

##### **バチエレ大統領の動き**

##### **バチエレ大統領のベトナム訪問**

バチエレ大統領(ムニョス外務大臣同行)のベトナム・ダナンにおけるAPEC首脳会合への参加に併せて、国賓としてベトナムを訪問した。9日のベトナムにおけるバチエレ大統領演説では、チリとベトナム間における3つの文書の署名(①児童及び青少年保護などの分野における協力覚書、②アンドレス・ベジョ・チリ外交アカデミーとベトナム外交アカデミーとの協力覚書及び③外交官の家族が任地で仕事を持つことを可能とするためのイニシアティブ)を通じた両国間の協力について強調した。また、ASEAN地域フォーラム(ARF)へのチリ参加希望票表明を改めて行った。

9日、バチエレ大統領は、チョン・ベトナム共産党党首、クアン・ベトナム国家主席、キム・ベトナム国会議長及びフック・ベトナム首相とそれぞれ会談を行った(ムニョス外務大臣同席)。

##### **ムニョス外務大臣の動き**

##### **ア. ムニョス外務大臣のベトナム訪問(中国とのFTA深化協定署名)**

11日、ダナンにおいて、ムニョス外務大臣とZhong Shan中国商務大臣は、バチエレ大統領及び習中国国家主席臨席の下、チリ・中国FTA深化協定に署名した。チリ・中国FTAは2005年に署名、2006年に発効している。深化協定では、モノ貿易、サービス貿易、電子商取引、原産地証明規則、税関手続、技術・経済協力等が含まれることとなった。

##### **イ. ムニョス外務大臣のアルゼンチン訪問**

2日、ブエノスアイレスにて、ムニョス外務大臣とフォリー・アルゼンチン外務大臣は、1996年に締結された経済補完協定(ACE)の拡大に関する新しい協定に署名した。同協定は、投資、サービス、政府調達、情報通信、電子取引等の分野での深化を含んでいる。

## (2) ゲバラ・ベネズエラ国会第一副議長のチリ大使公邸駆け込み

4日、チリ外務省が発出したプレスリリースによれば、チリ政府は、身の安全への差し迫った脅威を前にチリの保護を求めたゲバラ・ベネズエラ国会第一副議長が、駐ベネズエラ・チリ大使公邸内に入ったところ、チリ政府は、ゲバラ国会第一副議長に対して駐ベネズエラ・チリ大使館の客としての身分を付与することとした。

## (3) エジプトでのテロ事件に関する非難声明

24日、チリ外務省は、エジプトで発生したテロ事件に関する非難声明を発表。エジプト政府やエジプト国民、犠牲者の家族に対する弔意と連帯を表明するとともに、テロに対する断固とした拒絶とこのグローバルな脅威に対する国家間の一層の協力の必要性を表明した。

## (4) 北朝鮮のミサイル発射に対する外務省非難声明

11月29日、チリ外務省は、北朝鮮によるミサイル発射を非難する声明を発出。声明では、チリ政府は、11月28日に発生した北朝鮮による大陸間弾道ミサイル発射を改めて非難し、国際法及び国連安保理決議の明白な違反である今回の新たな行為に対する拒絶を再度表明した。